

別紙標準様式（第7条関係）

会 議 録

会 議 の 名 称	令和元年度第2回枚方市環境審議会環境基本計画策定部会
開 催 日 時	令和元年10月10日（木） 18時00分から 20時00分まで
開 催 場 所	枚方市役所 別館 第2委員会室
出 席 者	委 員：多田委員、谷本委員、花田委員、廣寄委員、福岡委員、藤田委員、 益田委員
欠 席 者	小嶋委員、小杉委員、田中委員、豊高委員
案 件 名	【案件】 （1）市民・事業者アンケートの集計結果について （2）市民ワークショップの報告について （3）計画の方向性について （4）今後のスケジュールについて
提出された資料等の 名 称	・次第 ・資料1 市民・事業者アンケート結果の概要について ・資料2 市民ワークショップの実施結果について ・資料3 第3次枚方市環境基本計画の方向性について（案） ・資料4 今後のスケジュールについて（案） ・参考資料1 令和元年度第1回枚方市環境基本計画策定部会における意見 要旨 ・参考資料2 市民、事業者アンケート結果（案） ・参考資料3 市民アンケートのその他クロス集計 ・参考資料4 市民ワークショップ報告書（案）
決 定 事 項	（1）市民・事業者アンケートの集計結果について報告を受けた。 （2）市民ワークショップの報告を受けた。 （3）計画の方向性の説明を受けた。
会議の公開、非公開の別 及び非公開の理由	公開
会議録の公表、非公表の 別及び非公表の理由	公表
傍 聴 者 の 数	0
所管部署（事務局）	環境部 環境保全課

審 議 内 容

1 開 会

部会長：只今から令和元年度第2回枚方市環境審議会環境基本計画策定部会を開催いたします。

事務局から、委員の出席状況のご報告をお願いします。

事務局：本日は、委員11名のうち、7名のご出席をいただいております。したがって、枚方市環境審議会規則第4条第2項の規定に基づき本部会が成立していることをご報告申し上げます。また、報告事項といたしまして、市民委員の原委員が、体調のこともあり辞任されましたので、後任の委員として、市民委員の募集の際に次点でありました小嶋様に委員としてご参加いただくことになりましたので、ご報告いたします。なお、本日、小嶋委員はご都合が悪く、ご欠席されています。

以上です。

部会長：ありがとうございます。本日傍聴希望の方はいらっしゃいますか。

事務局：おられません。

部会長：それでは、議事に入らせていただきます。本日の部会では、7月末から8月上旬に実施した市民・事業者アンケートと、9月中旬に実施したワークショップの報告を受け、第3次枚方市環境基本計画の基本的な方向性について議論していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくご報告いたします。案件に入ります前に、本日の資料の確認を事務局からお願いします。

事務局：資料を確認させていただきます。

次第

資料1 市民・事業者アンケート結果の概要について

資料2 市民ワークショップの実施結果について

資料3 第3次枚方市環境基本計画の方向性について（案）

資料4 今後のスケジュール（案）

参考資料1 令和元年度第1回枚方市環境基本計画策定部会における意見要旨

参考資料2 市民・事業者アンケート結果（案）

参考資料3 市民アンケートのその他のクロス集計

参考資料4 市民ワークショップ報告書（案）

となっております。過不足はございませんでしょうか。

なお、皆様のお手元のファイルの中にアンケートの原本を提示させていただいておりますので、参考にしていただきたいと思います。

案件1 市民・事業者アンケート結果の概要について

部会長：それでは、事務局から市民・事業者アンケートの集計結果についてご報告をお願いします。

事務局：【資料1により説明】

部会長：ありがとうございました。質問させていただきたいのですが、資料1の回収結果はいつの時点のデータでしょうか。

事務局：回答期限は8月9日ですが、それ以降も返ってきた分は一通り集計しました。

部会長：わかりました。3ページの「基本目標単位での結果」については重要度の順位ですか。

事務局：1ページのグラフは、「身の回りの環境について」の満足度（重要度）について、「満足（重要）」であれば5点、「どちらかと言えば満足（重要）」であれば2点、「わからない」であれば0点の重要度、「どちらかと言えば不満」であればマイナス2点、「重要ではな

い」や「不満」であればマイナス 5 点として点数を付けて、1 ページのグラフにしています。アンケート項目を基本目標の項目に分けて、アンケート結果を先程の説明のように点数をつけ、その平均をとって順位をつけています。

部会長：つまり重要度ということですか。

事務局：重要度と満足度の差の順位です。差が大きいものは、順位が高いということになります。

部会長：わかりました。基本目標への分け方についてですが、「ヒートアイランド対策の取り組み」は「地球環境」に分けられていますが、「地球環境」もしくは「都市環境」のどちらに分けられるのが正しいのか少し気になりました。この結果から、枚方市ではヒートアイランド対策が求められているのではないかと感じます。「地球環境」に分けられてる「ヒートアイランド対策の取り組み」についての重要度と満足度の差が大きいため、「地球環境」が 1 位という順位となっていると思いますが、やはり、どちらかと言うと都市環境対策が求められており重要なのではないかと思います。また、5 ページの「環境配慮行動を実践している人の割合（国との比較）」のグラフを見ると、枚方市の割合がとても高い結果となっています。例えば、「ごみはルールに従ってきちんと分別して出すようにする」が枚方市では 98.4%となっていますが、枚方市民全体でいうとここまで高くはないと思います。若干、選択バイアスのようなものがかかっているのではないかと感じました。さらに、求めるものとして、「出前講座や環境イベントを期待している」が多い結果となっていますが、市役所職員や企業が出前講座をされているのでしょうか。

事務局：企業が実施しているものもありますが、市としては環境教育として保育所等へ出向いています。また、環境分野だけではなく、市の施策に関するテーマで職員による出前講座を募集し、申し込みがあれば職員が出向き講座を実施しています。

部会長：これまで、出前講座や環境イベントに市が積極的に取り組んできたからこそ、このような結果が出ているのではないかと思います。では、委員の皆様からご意見等ごさいますでしょうか。

委員：参考資料 2 の 1 ページの市民アンケートの回答者の年齢割合について、70～79 歳の回答者の割合がかなり高いですが、枚方市人口の年齢構成割合と比べてどこまで反映されているのでしょうか。本アンケートに関してだけ高齢者の回答割合が高かったということであれば、全体に影響がありすぎるように思います。参考資料 3 の 31 ページの「自治会などの説明会」や「SNS」を見ていただいたらわかるように、年齢によってかなり違いがあります。回答者の比率については、枚方市の年齢構成割合でウェイトをかけて割り戻さなければ、本当の市民の状況がわからないのではないのでしょうか。アンケートを実施する前から、各年齢層で同じ数の回答が得られるように抽出する方法も提案しましたが、そのような調整をせず実施したため、当初懸念していた高齢者の回答が多い結果となっています。参考資料 3 の 11 ページの「環境に関する情報を取得しやすい手法」のように、全体を単純集計すると年齢別の違いが出てこなくなります。それを資料 1 の 6 ページ (4) のように集約してしまうと、若い方の意見が反映されなくなるのではないかと思います。枚方市の年齢構成割合と本アンケートの回答者の年齢割合が概ね合っているのであれば、この集計方法で問題ないため確認させていただきました。

事務局：年齢構成割合でウェイトをかけて割り戻す方法を検討し、今回の報告と異なる結果となれば、次回までに報告させていただきます。

部会長：その他でも、18～19 歳は 10 名であるため、一人の意見が強く反映されてしまうおそれもあります。

委員：参考資料 2 の 14 ページのグラフのように、年齢を 3 分割しウェイトを合わせたらいいのではないのでしょうか。

委員：18～19 歳が 10 名で 1.1%という結果は、代表性という観点からしてもウェイトをつけた

ところでどうなのでしょう。20～30代が極端に少ないため、3分割が本当にいいのかも検討が必要と思います。

委員：具体的にどのような問題があるのでしょうか。

委員：60歳以上が半数以上を占めて480人、18～39歳が約4分の1の130人、40～59歳が約2分の1の260人となっており、4倍の差が開いてしまっているため、年齢を3分割する集計方法に問題があると思います。また、東部地域の人口が少ないため回答者数も少ないのか、年齢割合と同じような検討が必要なのではないでしょうか。

部会長：問題は、ある年齢層の意見が強く反映されてしまい、次期計画の方向性を考えたときに間違った方向へ向かってしまうのではないかという指摘だと思いますが、益田委員いかがでしょうか。

委員：約20年きざみになっていますし、3分割することは悪くないという印象です。熱意のあるかないというのも年齢層によって異なりますし、人口の年齢構成だけの話ではないと思います。問題なのは、アンケートの結果、環境に熱心な人とそうでない人でどれくらいのバイアスがかかっているのかであって、各年齢層の回答率に大きなばらつきがなく、人口の年齢構成を反映しているという前提が成り立てば、年代別の考え方の平均値が表れていると考えてもいいのではないのでしょうか。また、10年、20年、30年後の将来のことについては、60歳くらいまでの若い人の意見が強く反映されてもいいのではないかと私は考えます。

部会長：ありがとうございます。次に説明があるワークショップでは、高校生を中心に意見をいただいていますので、それも合わせて考えていただければと思います。

事務局：年齢を3分割することや人口の年齢構成との比較については一度整理させていただき、どのような傾向がでるのか確認させていただきます。

委員：業者に検定してもらえば、統計的に有利なのかは出ると思います。統計的に扱えないものを根拠にするのは良くありませんので、検定して信頼度をはかってみることを検討をお願いします。また、自由回答欄で「枚方市が暑いと報道されないようにしてほしい」という意見がありますが、そのような報道があるためヒートアイランド対策の取り組みの重要度が高いのか、もしくは地球環境のことなののでしょうか。

委員：おそらく、ヒートアイランドではなく地球温暖化による気候変動を含めて高温のことを意識しているのではないのでしょうか。

委員：大阪府は年間平均気温が高いのですが、都市温暖化現象だけが要因ではなく、地形に左右される部分がとても多いです。都市温暖化の場合は、風通しを考慮するなど対策できますが、地形はどうしようもないところがあるので、対策をとるときに区別することが重要だと思います。

事務局：次期環境基本計画では、地形的などの状況も含めて策定していくこととなりますので、ヒートアイランド対策と地球温暖化対策の施策を区別していく整理が必要と考えています。

委員：事業者アンケートの自由記述欄に「年齢でできません、何歳で引退しました」というような記述がありましたが、事業者でありながら個人を代表しているような回答となっています。まとめるときは、どのようにまとめるのでしょうか。

事務局：事業者アンケートの結果、回答数が60～70程度で少なかったため、全体的に一定の傾向を把握することで現在整理をしているところです。

委員：10人以下の企業が6割ということですね。

部会長：現状、小規模事業者が多いということですが、個人ではなく事業者として回答していただきたいですね。

事務局：アンケートの依頼文には、事業者として回答していただくよう記載はさせていただいた

のですが、個人として回答してしまっていると自由記載欄を見て感じました。

委員：私も事業者アンケートでありながら個人として回答してしまっていると感じました。

部会長：その他、自然環境の面など何かご意見ありますでしょうか。

事務局：自然環境に関しては関心が高く、これから何かやってみたいという意見が多い結果となっています。

部会長：これはすごくチャンスだと思います。廣寄委員はいかがですか。

委員：これを活かして、もっとアピールできればと思います。

部会長：アンケートの集計方法について、意見をいただきましたので次回までにご検討をお願いします。

事務局：わかりました。

案件2 市民ワークショップの報告について

部会長：案件2市民ワークショップの報告について、事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料2、参考資料4により説明】

部会長：ありがとうございました。当日は私も参加させていただきましたが、高校生を対象としたため、柔軟で、人の意見を聞いて、また次につなげていくような意見が出ていたのが印象的でした。バスの本数や蛍、アライグマといった身近な視点での意見も多かったように思います。また、自分たちの意見が言える機会や考える機会をもらうことができ良かったという意見も聞きました。

委員：ワークショップを始める前に、枚方市の自然の状態などの情報を与えたのでしょうか。

事務局：はい、市の環境の状況や、将来のこととして新幹線やリニアモーターカーなどの計画や市駅周辺の整備を検討していることを伝えたくて、議論をしてもらいました。東部地域に緑が多いなど、枚方市の自然の概要も伝えました。

委員：資料に川の水がきれいと言われています。淀川水系全体としてはきれいなのですが、枚方市と交野市では淀川水系のなかで水は汚い方だと思いますが。

事務局：ここ数年で環境基準を達成している旨の説明をしたので、その説明に影響されているかもしれません。

委員：実際に川を見たわけではないのですか。

事務局：はい、60年代の汚かった川と比べると、きれいになったというような説明もしましたので、川がきれいという意見になってしまったかもしれません。また、私たちからすると、河川敷のごみはだいぶ減ったと感じるのですが、高校生からすると河川敷のごみが汚いという意見もありました。

委員：最近では、水質の類型でいうとA類型に分類されるような川が大阪府内で出てきていますが、それと比べると頑張りが足りないように思います。枚方市や交野市は山の方にも住宅があり、下水処理施設を整備できないところがあるので、一番きれいではなくても、これからきれいな川になっていくよう取り組む、というようなまとめ方であればもっと良かったと思います。

委員：この資料を公表するのであれば、今説明いただいた内容をパワーポイントとして付けていただけたら誤解もないと思います。

部会長：公表するのですか。

事務局：ワークショップに参加してくれた高校生には、冊子にまとめて配ろうと考えていますが、公表するかは現在検討しているところです。

部会長：前回のワークショップでは年齢の高い方が参加されていたとのことですが、今回とどの

ような違いがあったのかが気になります。また、高校生が自由に意見を出していたと思いました。

事務局：グループに大学生が入って上手く誘導してくれたおかげで、自由な意見が出たと思います。

案件3 計画の方向性について

部会長：それでは、案件3計画の方向性について事務局から説明をお願いします。

事務局：【資料3により説明】

部会長：ただいまの説明について、何かご意見はありますか。次回、また部会がありますので、それまでに意見をいただいても結構です。

事務局：アンケートの集計方法については、ご意見をいただいたような方法で検討させていただき、今の集計結果と異なる部分については、次回までに資料に反映させていただきます。また、めざすべき環境像については、大きな方向性は今の考え方を踏襲していきたいと考えています。そして、現計画の環境指標は、事業単位の目標と重なる部分がありますので、進行度と達成度がわかるようにしていきたいと考えています。そのようなことも踏まえて、全体会で報告できるような資料を作成していきたいと思います。他にご意見をいただければ、それも踏まえて作成をさせていただきますので、よろしくをお願いします。

委員：基本目標の番号については、市として重要度の高い順なのでしょうか。

事務局：基本目標①は全項目に共通するものとして頭出しをし、重要と考える目標です。その他の②～⑤は重要度の高い順ではありません。

委員：個人的なイメージですが、②と④、③と⑤が強い関係性にあるように思います。枚方市として、都市環境もしくは自然環境を中心に取組んでいくかで位置関係が変わってくるのではないのでしょうか。

事務局：ありがとうございます。

部会長：他に何かご意見はありますか。ありましたらメールでご意見をいただいても結構です。

案件4 今後のスケジュールについて

部会長：案件4今後のスケジュールの説明を事務局からお願いします。

事務局：【資料4により説明】

部会長：来年3月の全体会で行う部会報告は、計画の枠組みや方向性を報告するというところでよろしいですか。

事務局：はい、生物多様性の地域戦略についてであれば、新しい生物多様性の国家戦略の情報がどこまで入ってくるか等もありますので、一定の方向性として答申をいただければと考えています。

部会長：わかりました。案件4について、何かご意見はありますか。

それでは、本日の案件はすべて終了となりますが、事務局から連絡事項はありますか。

事務局：今後の予定といたしまして、11月下旬に部会を開催させていただきたいと考えております。後日、日程調整させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたします。また、資料等、その場に置いていただければ、事務局でファイルに綴じておきます。

部会長：それでは、本日はこれにて閉会とさせていただきます。